

# 週間漁海況情報—第4号

平成27年1月26日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

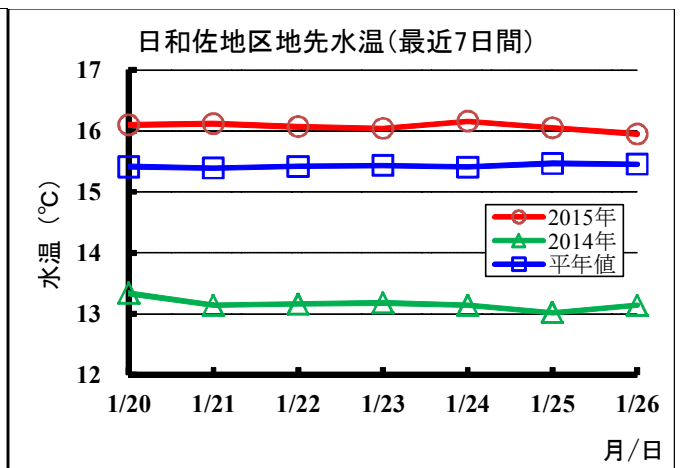
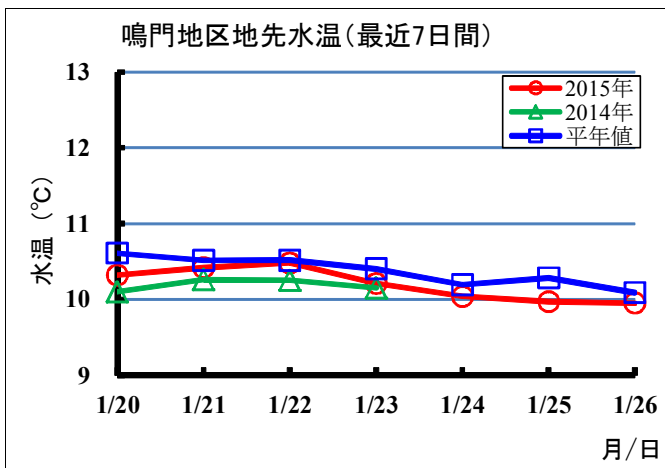
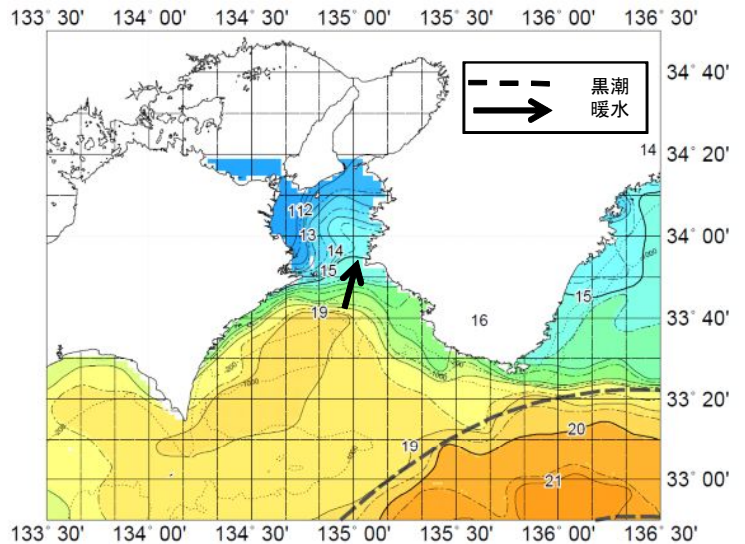
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H27.1.26）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で、かなり離岸、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は18～21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9～10℃台、紀伊水道では10～15℃台、海部沿岸は14～16℃台である。紀伊水道外域では室戸岬の東側に19℃台の暖水塊がある。紀伊水道では和歌山県側に弱い暖水流入がある。



**地先水温:** 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の10.0～10.5℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の16.0～16.2℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の15.8～17.0℃で推移した。

### 水温偏差の目安

平年並: ±0.49以下, やや高め(やや低め): ±0.50～1.49, 高め(低め): ±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め): ±2.50以上

\* 平年値 鳴門地区: 1981～2010年の平均値、日和佐地区: 1982～2010年の平均値

\* 鳴門地区2014年1月24日～26日の地先水温については、欠測です。

## 2. 漁況の経過

**延縄**：海部沿岸で大主体にキダイが0.5トン（1日1隻あたり20kg）、アマダイが0.2トン（同8kg）、大主体にサバフグが0.3トン（同22kg）、シマフグが0.5トン（同73kg）水揚げされた。

**小型定置網**：海部沿岸でアオリイカが0.3トン（同8kg）、メジナが0.3トン（同21kg）、かます類が0.2トン（同11kg）水揚げされた。

**大型定置網**：海部沿岸でマメ主体にマアジが0.2トン（同35kg）、小主体にサバ類が0.9トン（同133kg）、小主体にケンサキイカが0.2トン（同23kg）水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸でメジロが0.3トン（同14kg）、大主体にアオリイカが0.2トン（同6kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2015年1月19日～2015年1月26日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	24	470	20	大主体
		アマダイ	23	178	8	
		サバフグ	15	327	22	大主体
		シマフグ	7	509	73	
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	39	329	8	
		メジナ	12	251	21	
		かます類	17	189	11	
大型定置網	海部沿岸	マアジ	7	247	35	マメ主体
		サバ類	7	932	133	小主体
		ケンサキイカ	7	160	23	小主体
釣り	海部沿岸	メジロ	20	281	14	
		アオリイカ	31	177	6	大主体

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年の1月20日～1月26日には、海部沿岸で、延縄で大主体にキダイが0.6トン、カワハギが0.4トン、大主体にサバフグが0.2トン、建網で中主体にヒラメが0.3トン、特大主体にマトウダイが0.3トン、小型定置網で小主体にマアジが0.3トン、カタクチイワシが10.7トン、アオリイカが0.2トン、小主体にイカ類が0.3トン、大型定置網で小主体にマサバが0.2トン、中主体にメジナが0.2トン、釣りで大主体にゴマサバが0.5トン水揚げされた。

**週間予報**：黒潮は、室戸岬沖において「かなり離岸」、潮岬沖において「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の9℃台、日和佐地先で「平年並み」の14～15℃台で推移する見込み。